

Juniper SRX 日本語マニュアル

パスワードリカバリ方法

JUNIPER
NETWORKS

Driven by
Experience™

はじめに

- ◆ 本マニュアルは、パスワードリカバリ方法を説明します
- ◆ 手順内容は SRX300 、 Junos 21.2R3-S2 にて確認を実施しております
- ◆ 実際の設定内容やパラメータは導入する環境や構成によって異なります
各種設定内容の詳細は下記リンクよりご確認ください

<https://www.juniper.net/documentation/>

- ◆ 他にも多数の SRX 日本語マニュアルを「ソリューション & テクニカル情報サイト」に掲載しております
<https://www.juniper.net/jp/ja/local/solution-technical-information/security.html>

2022 年 8 月

パスワードリカバリ

SRX シリーズデバイスの root パスワードを忘れた場合は、パスワードリカバリを使用して root パスワードをリセットすることができます

この手順では、ウォッチドッグを無効にして、システムがシングルユーザーモードで適切に起動できるようにします

※パスワードリカバリを行うには、コンソールでアクセスする必要があります

パスワードリカバリ

1. フロントパネルの電源ボタンを押して、デバイスの電源を投入します
前面パネルの POWER LED が緑色に点灯していることを確認し
デバイスの起動シーケンスがコンソールアウトプットとして表示されることを確認します

2. 起動中、スペースバーを数回押してブートストラップローダーのプロンプトにアクセスします

```
Hit [Enter] to boot immediately, or space bar for command prompt.
```

3. `boot -s` を入力してシングルユーザモードでシステムを起動します ※ウォッチドッグの無効化

```
loader> boot -s
```

4. `root` パスワードリカバリを開始するには `recovery` を入力します

```
Enter full pathname of shell or 'recovery' for root password recovery or RETURN for /bin/sh: recovery
```

5. 起動後、Configuration モードを開始します

```
root@host> configure
```

パスワードリカバリ

6. root パスワードを設定します

```
[edit]  
root@host# set system root-authentication plain-text-password
```

7. 新しいパスワードを入力します

```
New password: juniper1  
Retype new password:
```

8. 2行目のプロンプトで新しい root パスワードを再入力します

9. 設定が完了したら設定をコミットします

```
root@host# commit  
commit complete
```

10. Configuration モードを終了します

```
root@host# exit
```

パスワードリカバリ

11. Operational モードを終了します

```
root@host> exit
```

12. “y” を入力し、機器を再起動します

```
Reboot the system? [y/n] y
```

13. 起動中、スペースバーを数回押してブートストラップローダーのプロンプトにアクセスします

```
Hit [Enter] to boot immediately, or space bar for command prompt.
```

14. ウォッチドッグを有効にし、“boot” を入力してシステムを起動します

```
loader>watchdog enable  
loader>boot
```

15. 再び起動し、ユーザー名とパスワードの入力を求めるプロンプトが表示します

16. 新しく設定したパスワードを入力します



Thank you

JUNIPER
NETWORKS®

Driven by
Experience™